



みんなが主役 豊岡小

大 楓



平成30年6月22日 No.6

銚子市立豊岡小学校

たった一つの命だから～命を大切にするキャンペーン

命を大切にする事、いじめをなくす事をねらいとして、全校で命を大切にするキャンペーンを実施し、各学級で命を大切にする標語を作りました。全員で話し合っって一つのものを作ったり、一人一つ作って代表を選んだりして、各学級の代表作品が決まりました。代表作品は、体育館前の掲示板に掲示され、みんなに公表されました。

6月11日(月)に行われた全校集会で、子どもたちが学年ごとに代表の標語を発表しました。その後、校長から「たった一つの命だから」という言葉をもとに、命の大切さに関わる話をしました。1年生から6年生まで、それぞれ命の大切さについて考える貴重な時間となりました。

各学級の代表標語

- 1・2年 「ひとつだけ みんなのいのち たいせつに」
- 3年 「このいのち たった一つの たからもの」
- 4年 「命より 大切な物 何もない」
- 5年 「生きようよ 命は神様の おくり物」
- 6年 「大丈夫? その一言が 誰かを救う」



楽しかった、おいしかった～宿泊体験学習

6月12日(火)、13日(水)の2日間、4・5年生が、水郷小見川少年自然の家に行って、宿泊体験学習を行いました。天候が心配されましたが無事にカヌー体験、七宝焼き体験をする事ができました。5年生は昨年度に引き続き2回目なので、上手にカヌーを進める子どももいました。4年生は初めての体験で、なかなかまっすぐ進みませんでした。それでもとても楽しそうでした。

夜は、天候の関係でキャンプファイヤーからキャンドルファイヤーに変更になりましたが、自分たちで進行したレクで大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。

2日目は、飯盒炊さんを行い、自分たちで苦勞して作ったご飯とカレーでおいしい昼食となりました。

あっという間の2日間でしたが、心に残る楽しい宿泊体験学習となりました。



救急法講習会～大切な命

6月20日(水)に、日本赤十字社救急法指導員の加瀬秀樹さんを講師として、6年生が救急法講習会を行いました。救急法の重要性と、救急法の仕方について教えていただいた後、加瀬さんに持ってきていただいた心肺蘇生法を練習する人形を使って、実際に人工呼吸をしたり、心臓マッサージをしたりと一人ずつ練習しました。また、AEDの使い方を知り、非常時の行動について学びました。命の大切さを感じながら、みな真剣な表情で学習していました。



醤油づくり体験～ふるさと学習

6月18日(月)宝醤油の方を講師として、4・5年生が醤油づくりを体験しました。これは、銚子市のふるさと学習の一環として、市内にある宝醤油、ヤマサ醤油、ヒゲタ醤油の3つの醤油会社に協力していただき、市内の小学生が醤油づくりを体験する活動です。

子どもたちは、初めて見る醤油の材料に興味津々で、講師の方に丁寧に教えていただきながら、楽しそうに醤油づくりを行っていました。1日目は、大豆と塩と麹菌などを混ぜる作業が中心でした。醤油が完成するのは、来年の2月の予定です。それまで、観察しながら定期的にかき混ぜるなど地道な作業となります。できあがるのが楽しみです。

